

平成 28 年度季節ハタハタ漁況予報

平成 28 年 11 月 22 日

秋田県水産振興センター

1 成熟度（生殖腺指数）の推移

ハタハタ雌の生殖腺指数（卵巣重量／内臓除去重量×100）が 20 に達した日とハタハタの初漁日との間には正の相関があり、この指数が 20 に達した日が早ければ初漁日も早い傾向が認められる。本年は、生殖腺指数が 20 に達したのは 10 月 12 日と推定された（図 1）。これは、初漁日予測を開始した昭和 58 年以降では最も早い（表 1）。

2 初漁日の推定（初漁日：初セリが行われた日）

今期の生殖腺指数が 20 に達した日を、昨年までの生殖腺指数と初漁日との間の回帰式に当てはめると、初漁日は 11 月 23 日と推定された（図 2）。

3 海況と気象

男鹿半島沖の底びき網漁場（水深 300m 地点）における 11 月初めの水温は、特に表層で低くなっている（表 2、図 4）。

仙台管区气象台が 11 月 17 日に発表した 1 か月予報によれば、11 月下旬の東北日本海側の天候は、平年よりも曇りや雨または雪の日が多いとされ、気温もかなり低くなる可能性がある。これまでのところ沿岸水温はかなり低めに推移しているが、接岸には北西寄りの強い風による時化が重要であることから、今後、静穏な海況が続いた場合には、接岸が予想よりも遅れる可能性がある。

4 魚体組成

2 歳魚が中心であり、3 歳魚も混じる（図 5）。魚体は中型主体であり、大型も混じる。

ま と め

【初漁日】

成熟度の推移からは 11 月 23 日（±3 日）と推定された。
今後、静穏な海況が続いた場合は、接岸が予想よりも遅れる可能性がある。

【魚体組成】

中型主体であり、大型も混じる。

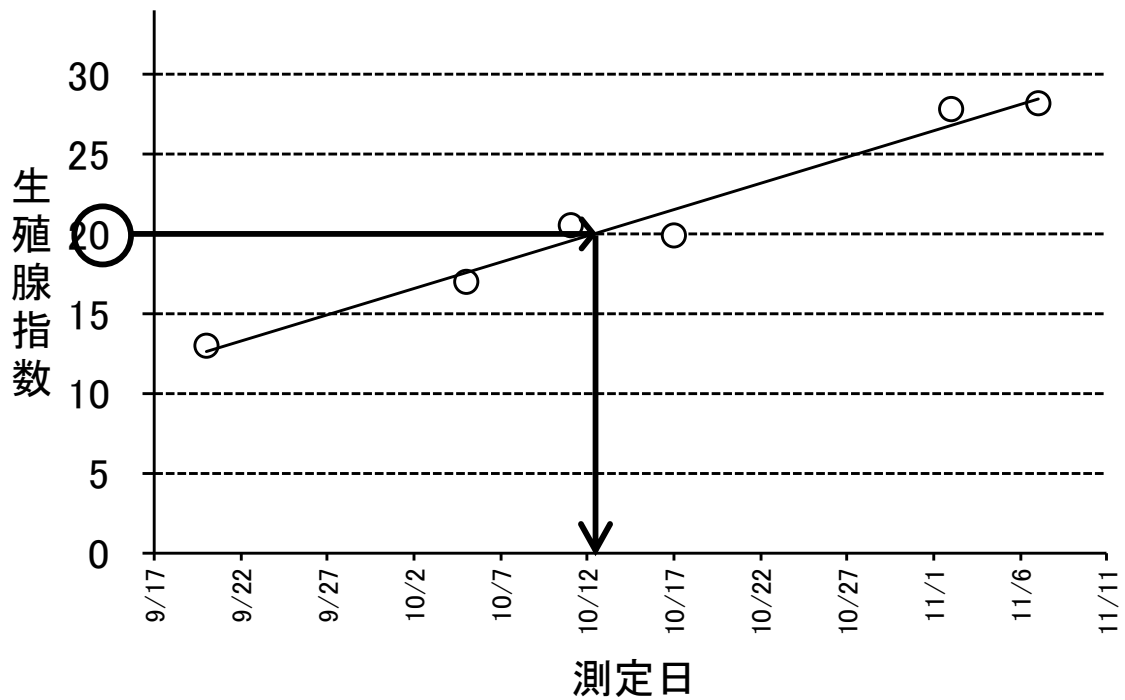


図1 ハタハタ(メス)の生殖腺指数の推移(平成28年9~11月)

【今年の傾向】

回帰直線から、メスの生殖腺指数が20に達した日を10月12日と推定した。

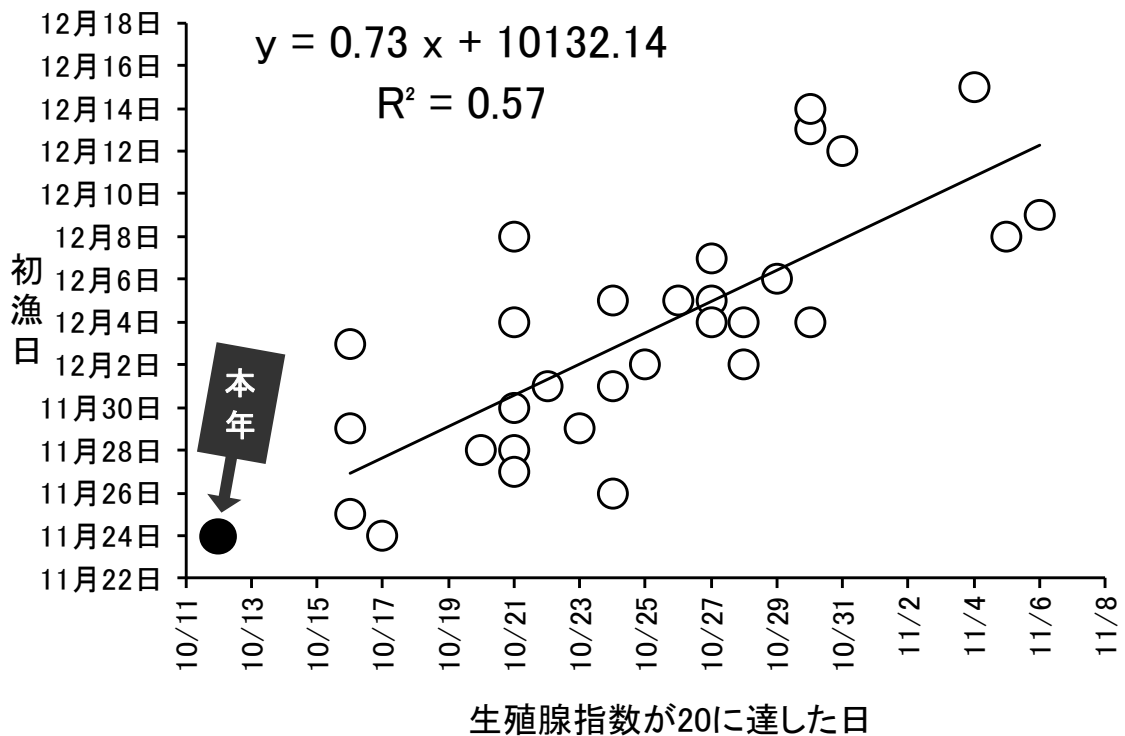


図2 生殖腺指数が 20 に達した日と初漁日との関係(○: S58~H27年)

【今年の傾向】

回帰直線から推定される本年のハタハタ初漁日は、11月23日となった。

表1 ハタハタ(メス)の生殖腺指数が20に達した日と初漁日との関係

年度	生殖腺指数 ^{※1} が 20に達した日	予想された初漁日	初漁日
昭和45	10月18日		12月2日
46	10月20日		12月1日
47	10月27日		11月23日
48	10月19日		11月25日
49	10月24日		11月23日
50	10月26日		12月1日
51	10月26日		11月28日
52	10月26日		12月15日
53	-		12月4日
54	10月26日		12月17日
55	11月1日		12月2日
56	10月27日		12月11日
57	10月26日		12月15日
58	10月27日	12月7日 ± 5日	12月5日
59	10月30日	12月9日 ± 5日	12月4日
60	10月31日	12月10日 ± 5日	12月12日
61	10月28日	12月5日 ± 5日	12月4日
62	10月24日	12月1日 ± 5日	12月5日
63	10月28日	12月7日 ± 6日	12月2日
平成元	10月30日	12月8日 ± 4日	12月13日
2	10月29日	12月7日 ± 4日	12月6日
3	11月4日	12月12日 ± 4日	12月15日
4 ^{※2}	11月2日	12月12日 ± 3日	12月16日
5 ^{※2}	11月7日	12月17日 ± 3日	12月13日
6 ^{※2}	11月5日	12月15日 ± 3日	12月18日
7	10月21日	12月6日 ± 3日	12月8日
8	11月6日	12月14日 ± 3日	12月9日
9	10月27日	12月6日 ± 5日	12月4日
10	10月27日	12月6日 ± 4日	12月7日
11	10月30日	12月9日 ± 4日	12月14日
12	11月5日	12月16日 ± 5日	12月8日
13	10月26日	12月4日 ± 5日	12月5日
14	10月21日	12月5日 ± 3日	11月28日
15	10月21日	12月1日 ± 2日	11月27日
16	10月23日	12月3日 ± 2日	11月29日
17	10月22日	11月30日 ± 2日	12月1日
18	10月21日	12月1日 ± 3日	12月4日
19	10月24日	12月3日 ± 3日	11月26日
20	10月16日	11月26日 ± 3日	11月25日
21	10月17日	11月27日 ± 3日	11月24日
22	10月24日	12月2日 ± 4日	12月1日
23	10月25日	12月3日 ± 4日	12月2日
24	10月21日	11月29日 ± 3日	11月30日
25	10月21日	11月29日 ± 3日	11月28日
26	10月18日	11月27日 ± 3日	12月3日
27	10月20日	11月29日 ± 3日	11月29日
H28	10月12日	11月23日 ± 3日	-

※1 生殖腺指数＝生殖腺重量／内臓除去重量×100

※2 網掛けは、ハタハタ全面禁漁期間中のモニタリング調査結果。

表2 観測定点での11月上旬の水温

入道崎沖 5マイル(St.1;★)

年	0m	50m	100m	200m	300m
H7	19.8	19.6	14.8	5.5	1.3
H8	18.5	17.8	14.4	5.3	1.7
H9	18.3	18.4	17.3	6.2	1.7
H10	19.5	19.4	17.1	4.3	1.3
H11	18.7	19.2	18.0	5.0	1.4
H12	20.4	20.2	14.1	3.1	1.2
H13	17.9	18.6	13.2	4.4	1.1
H14	18.0	18.7	17.4	8.3	1.7
H15	17.8	19.3	19.2	5.9	1.7
H16	18.8	18.3	11.5	4.1	1.3
H17	19.0	20.3	15.2	5.1	1.5
H18	19.0	18.3	14.6	4.2	1.3
H19	19.4	20.1	15.3	3.4	1.5
H20	19.8	20.5	15.2	5.9	1.6
H21	18.3	18.2	15.6	5.3	1.6
H22	18.1	18.3	13.7	5.0	1.3
H23	19.8	19.4	15.4	6.3	1.4
H24	17.4	18.6	16.4	7.5	2.1
H25	19.7	18.7	12.8	3.2	1.4
H26	18.4	18.2	15.0	5.5	1.5
H27	18.6	18.6	16.2	5.1	1.5
平年値	18.5	18.7	15.5	5.2	1.4
H28 ^{※1}	16.6	16.3	15.5	5.2	1.4
偏差 ^{※2}	-212	-286	1	-1	21

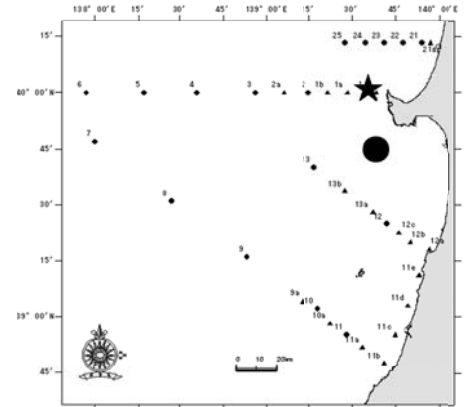


図3 水温観測地点

※2 偏差の評価区分

- +200以上……はなはだ高い
- +131~200……かなり高い
- +61~130……やや高い
- ±60以下……平年並み
- 61~130……やや低い
- 131~200……かなり低い
- 200以下……はなはだ低い

平年値は1981-2010年の30年間の平均
偏差: $100 \times (\text{水温} - \text{平年値}) / \text{標準偏差}$

※1 st.1は欠測のため、シグレ西側水深300m(●)で11月14日に観測した水温

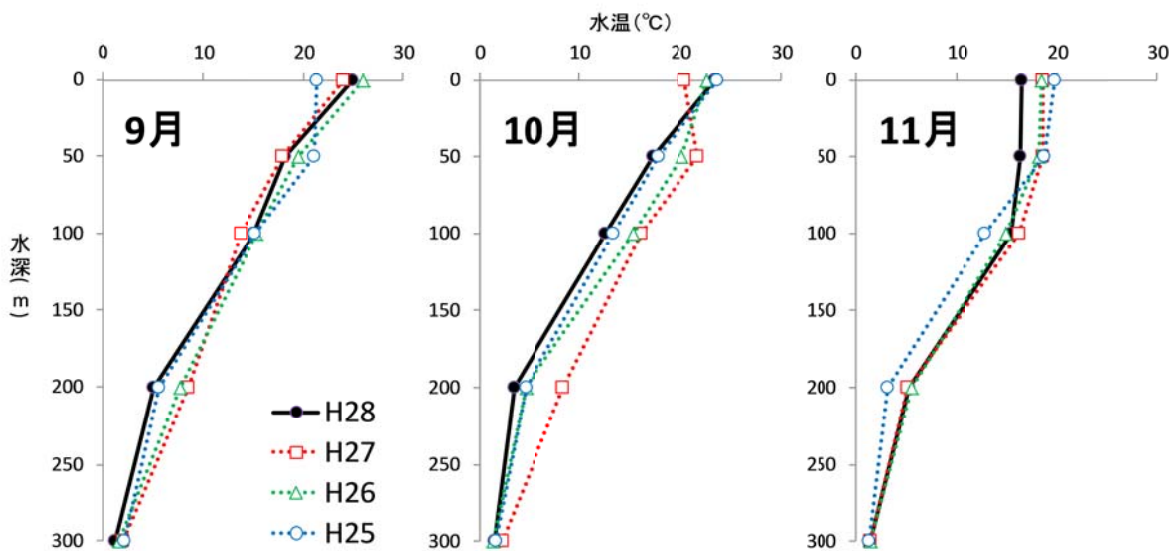


図4 入道崎沖5マイルにおける各水深の水温 (H25~28年)
(11月はst.1では欠測のため、シグレ西側水深300mでの観測値との比較)

- 11月の底びき漁場周辺の水温は特に表層において例年よりも低くなっている。

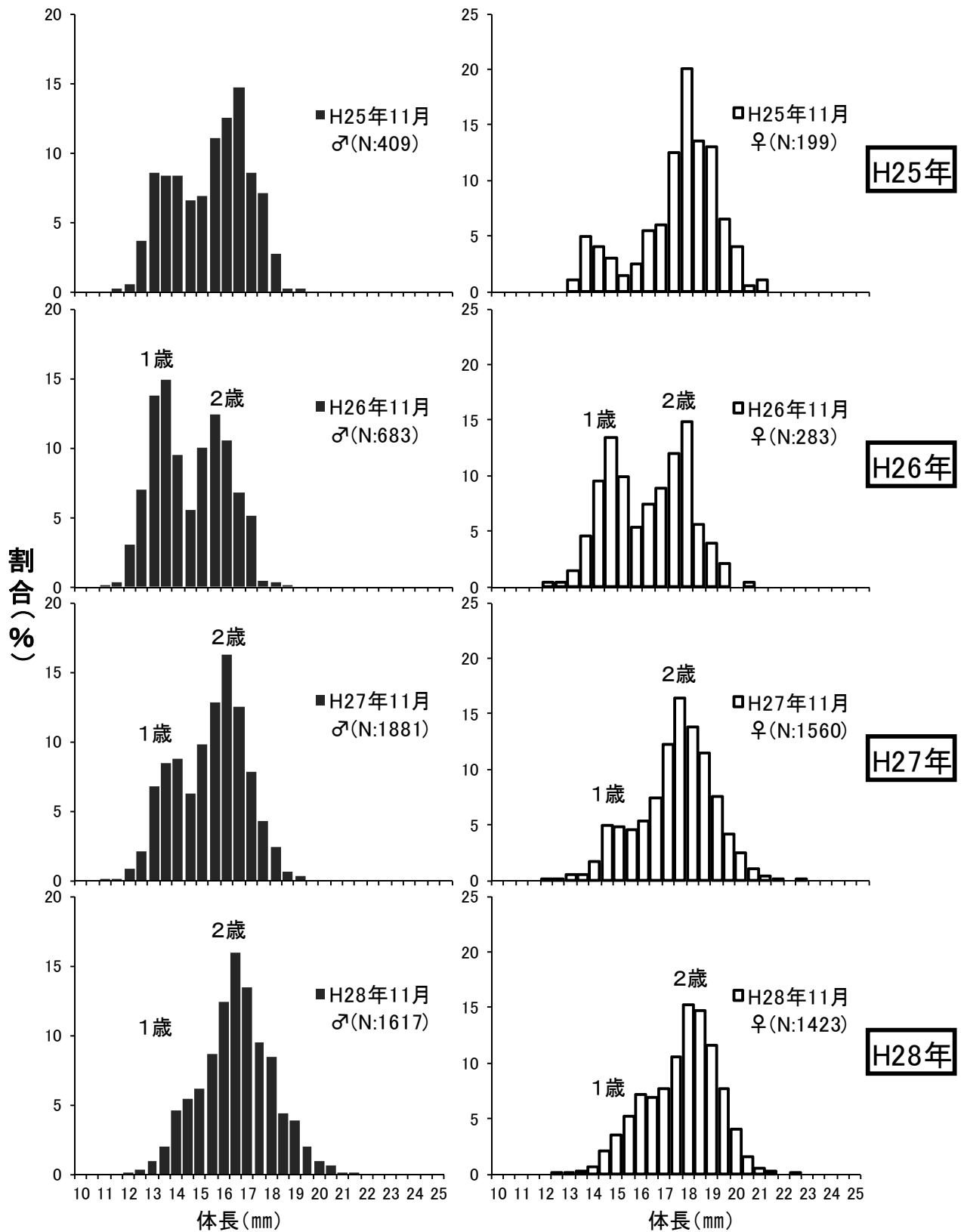


図5 11月の底びき網でのハタハタ体長組成

【今年の傾向】

- ◎ 今期は2歳の割合が高く、1歳の割合が低い状況が続いている。
- ◎ 魚体は中型主体であり、大型も混じる。

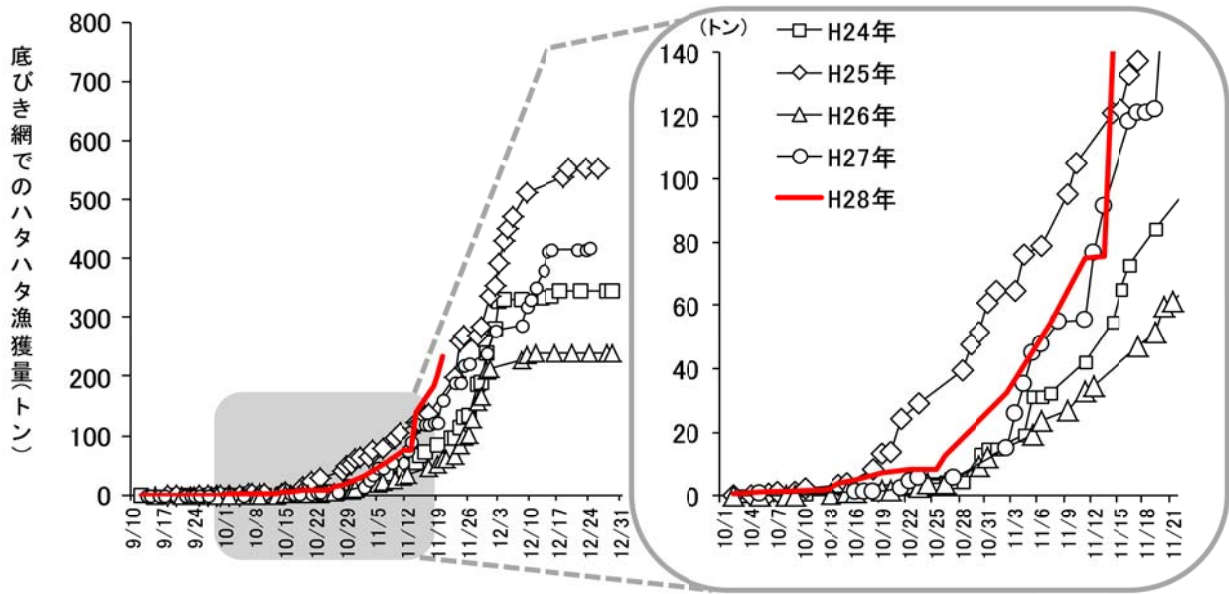


図6 底びき網でのハタハタ漁獲量の推移(累積値;秋田県漁協調べ)

(左:9月10日~12月31日、右:10月1日~11月21日)

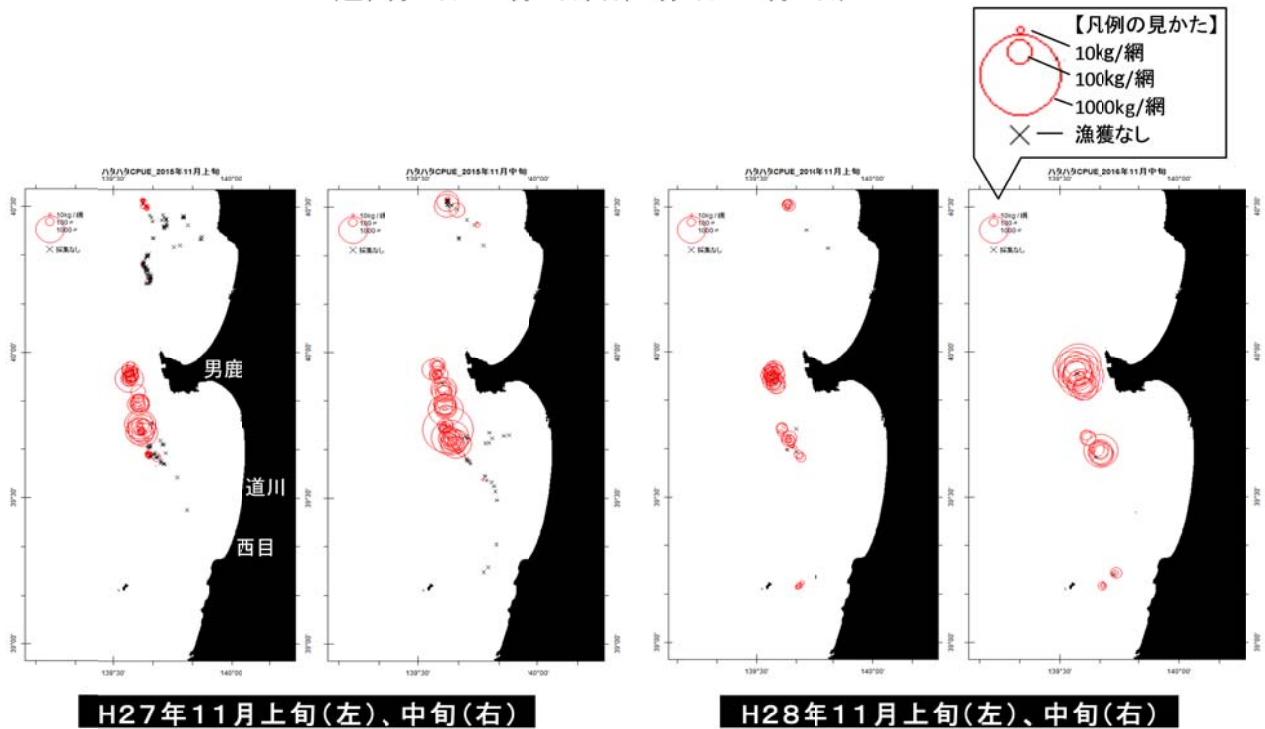


図7 11月上・中旬における男鹿半島周辺漁場での漁獲状況(左:昨年漁期、右:今漁期)

【今年の傾向】

- ◎ 11月は昨年に比べて出漁日数は少ないが、同時期で比較した漁獲量は約75トン上回っている。
- ◎ 11月上旬以降、男鹿半島西岸に好漁場が形成されている。
- ◎ 例年11月中旬以降に主漁場となる男鹿半島南海域での群れの形成がやや弱い状況である。
- ◎ 昨年11月に漁場が形成されなかった道川～西目沖でも、今漁期は11月中旬以降、漁獲量が増えている。

【参考資料 2】

図はすべて日本海海況予報システム JADE2 より引用(<http://jade2.dc.affrc.go.jp/jade2/>)

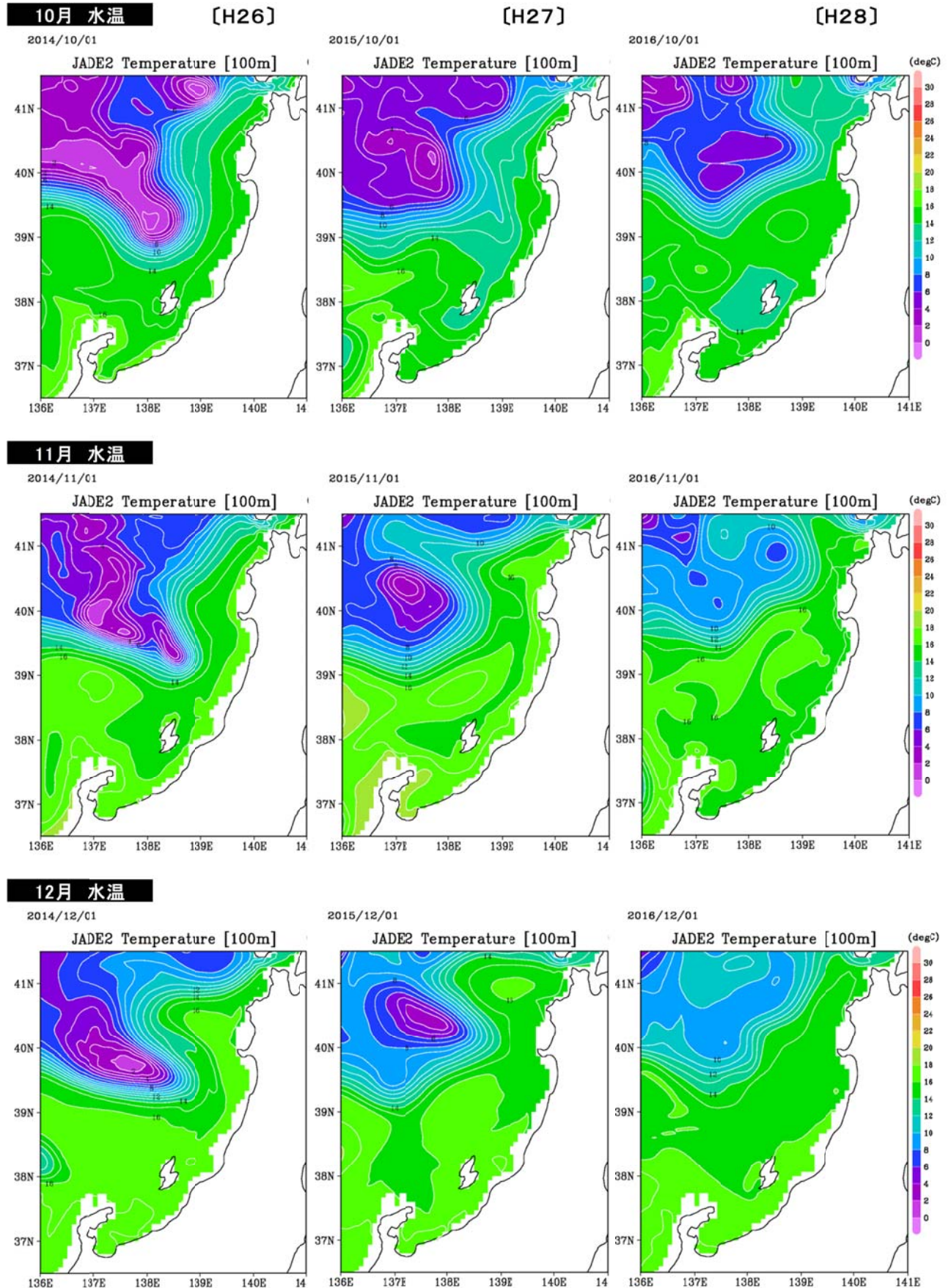


図 H26 年(左)、H27 年(中)、H28 年(右)の水深 100m 帯の水温分布(H28 年 12 月は予想図)

●今期は沖合の冷水の張り出しが例年より弱い状況が続いているが、沿岸寄りの水温は低めに推移している。

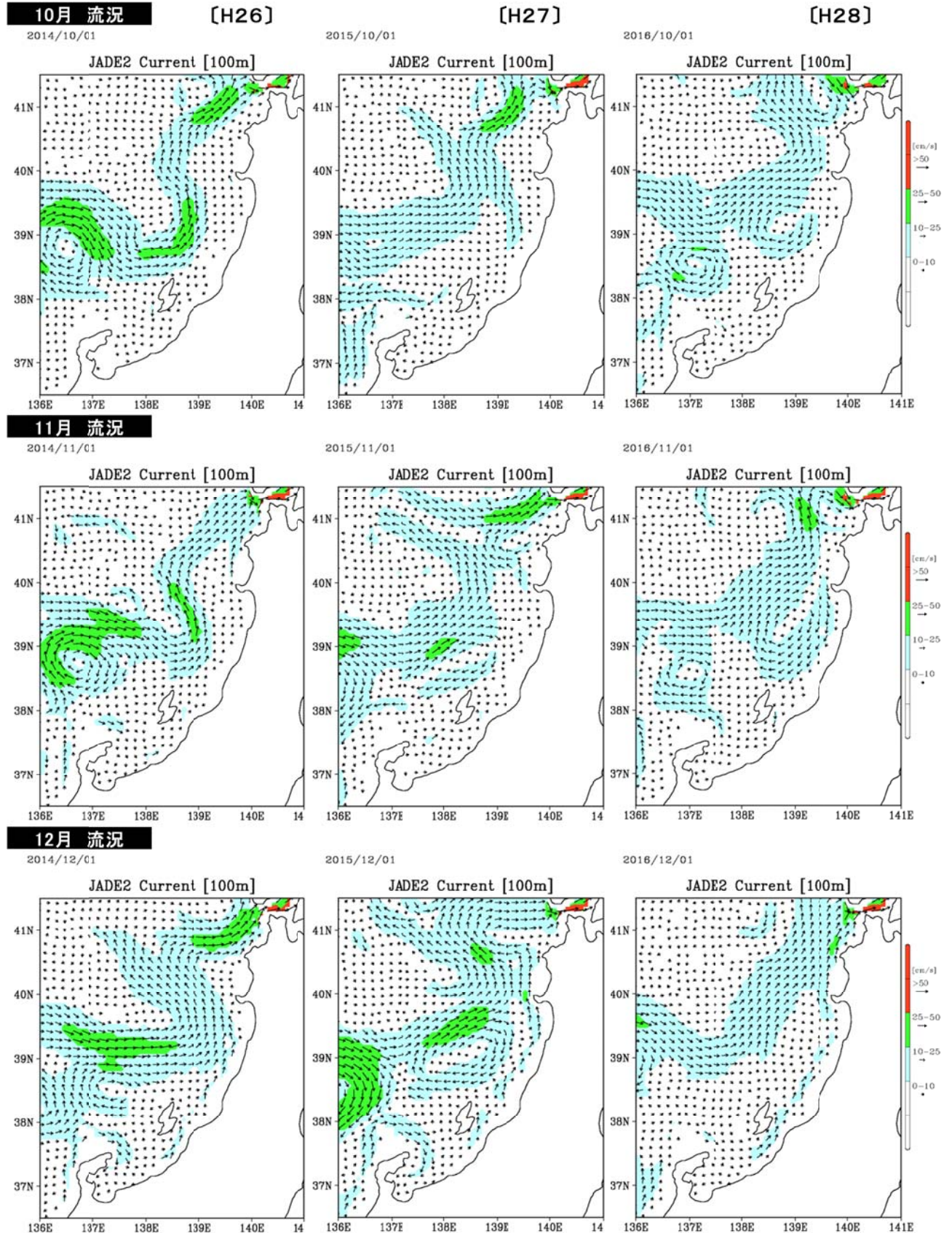


図 H26年(左)、H27年(中)、H28年(右)の水深100m帯の流向・流速(H28年12月は予想図)

●今期の流況は比較的穏やかと予想されており、本県沿岸の産卵場への来遊を妨げる可能性は低いと考えられる。